

【それぞれの良さ】



本校には、秋に現れる素敵な窓が2つあります。それがこの写真です。どちらも、第2校舎の1階から2階にのぼる東西の踊り場での風景です。

本校にお世話になって2年目。この窓越しの素敵な風景を見るのも2回目です。今年も本当に色鮮やかな葉に、思わず足を止めてしまいます。



ここで、ふと、いつものように考えました。

もし、このイチョウやツタを外から見たとしたら、この心の揺れは感じるのだろうか？

そう思った私は、居てもたってもいられずに外へ出て見てみました。

するとどうでしょう。確かに、イチョウもツタも、今が真っ盛りと言う感じで、見事な様。その鮮やかさに息をのむ感じでした。思わず、この感動を共有したくなって、仕事中の事務の先生を連れだしてしまうほどでした。



私の思惑は、「きっと外からではあまり感動はしないだろう」と思っていたのですが、イチョウは予想通り(イチョウさんすみません)でしたが、ツタの方は、圧巻でありました。

全部が見えず、一部分だけが見えるという窓枠からの風景から、「全部がわからない方が心を惹かれるであろう」と思いを馳せてみまし



たが、全容が見えても心は十分引き付けられました。

一部でも全部でも、素敵なものは素敵なのです。

(カメラの技術もカメラのグレードも今一つで、うまく伝わりづらくてすみません。宜しければ直接どうぞ。今が見頃です)

1年生が畑で作ったサツマイモでチップスを作ってもってきてくれました。

お芋の種類が2種類あったので、「これはよく味わって味の違いを伝えよう」と思い、ゆっくり、じっくり味わいました。

その後、そうじと一緒にやっている1年生に「チップスごちそうさま。2種類あったから、ゆっくり味わって食べたよ。〇〇の方、よく噛んでいたらすごく甘かったよね」と話しました。すると、

「(わたしは) おかわりは全部食べてからって言われたから、急いで食べたの。だから味の違いわからなかったなあ〜」

なるほど、教室ではそんな熾烈な争いがあったのですね。呑気にゆっくりと味わう私と、1年生の教室での味わい方の違いに、思わずクスッときてしまいました。

